

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【公表番号】特表2014-500763(P2014-500763A)  
 【公表日】平成26年1月16日(2014.1.16)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-002  
 【出願番号】特願2013-539166(P2013-539166)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 F 2/91 (2013.01)

【 F I 】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 F 2/91

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 8 】

図 1 及び 3 の実施形態ではコネクタ 5 及び 5 ' の形状が異なり、図 3 の実施形態では、より長く、また結合素子 1 1 ( 図 4 を見よ ) に収斂するように構成される。結合素子 1 1 は、例えば、ステント構造 1 の誘導ワイヤ 2 ( 図 4 を見よ ) からの切離しを可能にする電解腐蝕システムとすることができる。図 2 にしたがう実施形態においては、電解切離しのため、2 つの切離し素子 6 , 6 ' を設けることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4 】

図 7 は、誘導ワイヤ 2 , 結合素子 1 1 , コネクタ 5 , 5 ' への近端締結部領域、外殻面 8 の有効範囲及びランペット型に広がる遠位領域 1 4 を有する、本発明の血栓摘出器具の構成を簡略に示す。

【手続補正 3】

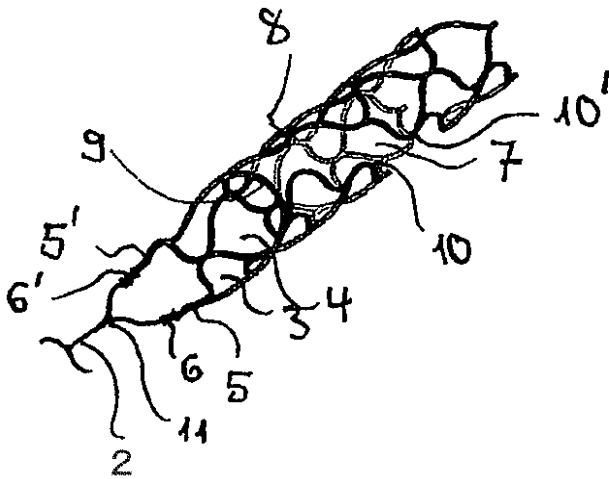
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 4】

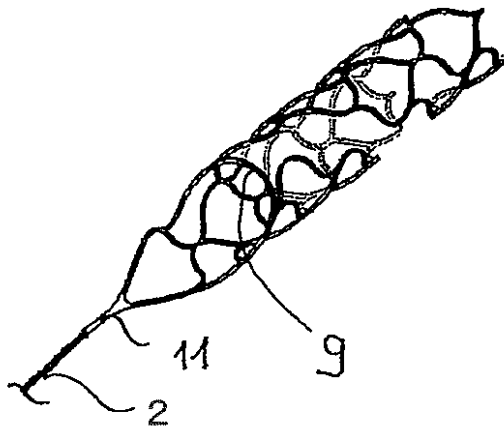
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

